



PROGRAM NOTE

私の短波放送の楽しみ方

日本短波クラブ会員 尾原 栄 (米国ニュージャージー州在住)



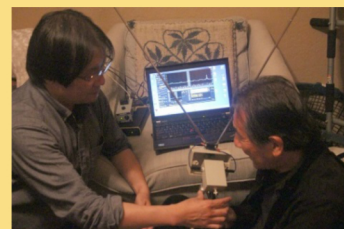
40年前の小中学時代に短波放送に出会ってから外国に興味を持ち、結局それが縁で外国語が必須の輸出関係の仕事に就いて現在は米国に駐在しております。日・米・欧を行ったり来たりする生活で、4年ほど前から出張先に短波ラジオを持って出かけるようになり、その場所で聞こえる放送を録音してブログで紹介するようになりました。(ブログ:「海外短波放送音声ファイル」<http://shortwaverecording.blog.so-net.ne.jp>)

最近短波放送を廃止する局が多い中、短波愛好家を刺激するような面白い技術が開発されており、どうも私はそれに病みつきのようになってしまったようです。その一つが Software-Defined Radio (SDR) と言ってパソコンの画面で操作する受信機。これは受信時の波形がパソコンに表示される「見えるラジオ」。混信は一瞬にして排除、受信したバンドごと記録保存でき、またスケジュールの表示や、同機種を使っている世界中のリスナーの受信機をインターネットにより遠隔でシェアできるという、昔ではとても考えられなかった機能の受信機です。そしてもう一つ、現在は短波放送の天敵ともいえる都市ノイズが非常に増えたことが問題ですが、ノイズに強いスモールループアンテナが開発され、市販品やキット、自作プロジェクトとして紹介されています。私の余暇は、SDR で受信波形を見ながら、ループアンテナを試行錯誤して信号対雑音比をいかに上げるかに悩む生活といっても過言ではありません(笑)。



現在、私は SDR 受信機としてソフトウェアのデザインが美しいイタリア製のペルセウス、またループアンテナは大阪の DXer 影山様が開発された Δ LOOP9 を携帯用にアレンジして出張や旅行にお供させています(左の写真はプエルトリコ出張時、ホテルのベランダに置いたループアンテナです)。現地の局はもちろん、遠方局を捕まえる場合も日本とはまた違った環境で楽しむことができます。米国では中南米の局がよく聞こえてきますし、欧州はアフリカの局も強く入ってきます。クヌヌラ送信の HCJB 日本語放送はこちら米国東海岸では受信は難しく日本に帰国した時にしか聞けませんが、代わりにエクアドルのキトーからの送信波は状態が良いときはクリアーに聞こえ、流れてくるサンフェニートはとても懐かしく感じました。

2014年11月にアリゾナ方面に出張する機会があり、HCJBのツーサンスタジオも訪問させて頂きました。この時も装置を持参しており、尾崎さんにも私の受信スタイルを披露する機会となりました。(尾原 栄)



サタデー・トーク

きき手 尾崎一夫
毎週土曜日放送

1月03日	尾原 栄 (1)	<米国ニュージャージー州滞在>
1月10日	尾原 栄 (2)	<米国ニュージャージー州滞在>
1月17日	John Adams	<元HCJB国際放送部長>
1月24日	佐藤逸子 (1)	<山梨ホスピス協会事務局長>
1月31日	佐藤逸子 (2)	<山梨ホスピス協会事務局長>

バイブル・トーク

東京淀橋教会 峯野龍弘主管牧師
毎週日曜日放送

1月04日	聖書の見所をたずねて: 遊覧バス (80)
1月11日	聖書の見所をたずねて: 遊覧バス (81)
1月18日	リスナーからの「お便り交換の時間」
1月25日	聖書の見所をたずねて: 遊覧バス (82)
2月01日	聖書の見所をたずねて: 遊覧バス (83)

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.org>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間: 日本時間 午前7時半~8時 17760kHz (再放送) 午後7時55分~8時25分 15400kHz
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)